

道德授業公開 指導案集

令和4年1月29日(土)
港区立高松中学校

目 次

実施学級	授業者	内容項目	資料名
1 - 1	〇〇 〇〇	C-(10) C 主として集団や社会と	「おくれてきた客」
1 - 2	〇〇 〇〇	の関わりに関すること	
1 - 3	〇〇 〇〇	(10) 遵法精神、公德心	
2 - 1	〇〇 〇〇	C-(10) C 主として集団や社会と	「美しい鳥取砂丘」
2 - 2	〇〇 〇〇	の関わりに関すること	
2 - 3	〇〇 〇〇	(10) 遵法精神、公德心	
3 - 1	〇〇 〇〇	C-(13) C 主として集団や社会と の関わりに関すること (13) 勤労	「失った笑顔を取り 戻す」
3 - 2	〇〇 〇〇	C-(12) C 主として集団や社会と の関わりに関すること (12) 社会参画、公共 の精神	「サトシの一票」
3 - 3	〇〇 〇〇	B-(6) C 主として人との関わり に関すること (6) 思いやり、感謝	「塩むすび」

1年 道徳授業 学習指導案

令和4年1月29日(土) 第2校時
実施学級1年1組29名
授業者 ○○ ○○

1 主題名

法やきまり・思いやり

2 主題設定の理由

法やきまりを守らなければならないことを中学生は理解している。しかし、法やきまりはなぜ守らなければならないのか、守らなければ自身にどのような影響があるのかについて深く考える機会は少ない。今回の授業では、きまりを守ることと他人を思いやるとのジレンマに悩む主人公の姿を通して、きまりの大切さや思いやりについて、意見交換をしながら自身の考えを深めさせたい。

3 ねらい

本題材の主人公であるコジマくんは、美術館の警備員をしている。ある展覧会の公開最終日、入場時刻を過ぎた時間に来た母娘に、なんとか入場させてくれないかと頼まれる。母娘のお願いに悩むコジマくんを通して、きまりを問い直し、その意味について考えさせる。

4 資料

「おくれた客」NHK for school ココロ部

5 展開の概要

過程	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	○「おくれた客」の前半を視聴して、コジマくんの悩みについて話し合う。 発問「コジマくんは、何に困っているのでしょうか。」 発問「コジマくんは、どうしたらよいと思いますか。」	・警備員なのだから、規則を守るのが仕事。 ・おばあさんは最後の外出だ。もう二度と見られないかもしれないから、見せてあげるべきだ。	・長年の夢だという母娘の気持ちやきまりを守らねばならない立場をおさえる。
展開	○「おくれた客」の後半を視聴して、コジマくんはどうしたらよいか話し合う。 発問「きまりとは、他の人の権利を守る大切な約束事」という言葉を聞いて、コジマくんはどうしたらよいか、改めて考えましょう。	・美術品を傷つけたりしたら、美術館の信用がなくなる。一人のために「きまり」を変えることはできない。 ・おばあさんには最後のチャンス。だから、やっぱり見せるべきだと思う。	・おばあさんの差し迫った状況を理解しながらも、もう一度「きまり」の意味を考えさせる。
終末	○今日の学習から、責任や思いやりについて考えたことをまとめる。	・きまりは自分だけのことでなく、周りの人にとっても大切であることがわかった。 ・きまりは必要なら変えることも大事だけど、みんなに影響することを忘れてはいけない。	・板書を振り返りながら、「きまり」を人との関わりから考える大切さに気付かせたい。

6 評価

・法やきまりの意味について考え、その価値について自身の考えを深めることができたか。

1年 道徳授業 学習指導案

令和4年1月29日(土) 第2校時
実施学級1年2組27名
授業者 ○○ ○○

1 主題名

法やきまり・思いやり

2 主題設定の理由

法やきまりを守らなければならないことを中学生は理解している。しかし、法やきまりはなぜ守らなければならないのか、守らなければ自身にどのような影響があるのかについて深く考える機会は少ない。今回の授業では、きまりを守ることと他人を思いやるとのジレンマに悩む主人公の姿を通して、きまりの大切さや思いやりについて、意見交換をしながら自身の考えを深めさせたい。

3 ねらい

本題材の主人公であるコジマくんは、美術館の警備員をしている。ある展覧会の公開最終日、入場時刻を過ぎた時間に来た母娘に、なんとか入場させてくれないかと頼まれる。母娘のお願いに悩むコジマくんを通して、きまりを問い直し、その意味について考えさせる。

4 資料

「おくれてきた客」NHK for school ココロ部

5 展開の概要

過程	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	○「おくれてきた客」の前半を視聴して、コジマくんの悩みについて話し合う。 発問「コジマくんは、何に困っているのでしょうか。」 発問「コジマくんは、どうしたらよいと思いますか。」	・警備員なのだから、規則を守るのが仕事。 ・おばあさんは最後の外出だ。もう二度と見られないかもしれないから、見せてあげるべきだ。	・長年の夢だという母娘の気持ちやきまりを守らねばならない立場をおさえる。
展開	○「おくれてきた客」の後半を視聴して、コジマくんはどうしたらよいか話し合う。 発問「きまりとは、他の人の権利を守る大切な約束事」という言葉を聞いて、コジマくんはどうしたらよいか、改めて考えましょう。	・美術品を傷つけたりしたら、美術館の信用がなくなる。一人のために「きまり」を変えることはできない。 ・おばあさんには最後のチャンス。だから、やっぱり見せるべきだと思う。	・おばあさんの差し迫った状況を理解しながらも、もう一度「きまり」の意味を考えさせる。
終末	○今日の学習から、責任や思いやりについて考えたことをまとめる。	・きまりは自分だけのことでなく、周りの人にとっても大切であることがわかった。 ・きまりは必要なら変えることも大事だけど、みんなに影響することを忘れてはいけない。	・板書を振り返りながら、「きまり」を人との関わりから考える大切さに気付かせたい。

6 評価

・法やきまりの意味について考え、その価値について自身の考えを深めることができたか

1年 道徳授業 学習指導案

令和4年1月29日(土) 第2校時
実施学級1年3組29名
授業者 ○○ ○○

1 主題名

法やきまり・思いやり

2 主題設定の理由

法やきまりを守らなければならないことを中学生は理解している。しかし、法やきまりはなぜ守らなければならないのか、守らなければ自身にどのような影響があるのかについて深く考える機会は少ない。今回の授業では、きまりを守ることと他人を思いやるとのジレンマに悩む主人公の姿を通して、きまりの大切さや思いやりについて、意見交換をしながら自身の考えを深めさせたい。

3 ねらい

本題材の主人公であるコジマくんは、美術館の警備員をしている。ある展覧会の公開最終日、入場時刻を過ぎた時間に来た母娘に、なんとか入場させてくれないかと頼まれる。母娘のお願いに悩むコジマくんを通して、きまりを問い直し、その意味について考えさせる。

4 資料

「おくれてきた客」NHK for school ココロ部

5 展開の概要

過程	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	○「おくれてきた客」の前半を視聴して、コジマくんの悩みについて話し合う。 発問「コジマくんは、何に困っているのでしょうか。」 発問「コジマくんは、どうしたらよいと思いますか。」	・警備員なのだから、規則を守るのが仕事。 ・おばあさんは最後の外出だ。もう二度と見られないかもしれないから、見せてあげるべきだ。	・長年の夢だという母娘の気持ちやきまりを守らねばならない立場をおさえる。
展開	○「おくれてきた客」の後半を視聴して、コジマくんはどうしたらよいか話し合う。 発問「きまりとは、他の人の権利を守る大切な約束事」という言葉を聞いて、コジマくんはどうしたらよいか、改めて考えましょう。	・美術品を傷つけたりしたら、美術館の信用がなくなる。一人のために「きまり」を変えることはできない。 ・おばあさんには最後のチャンス。だから、やっぱり見せるべきだと思う。	・おばあさんの差し迫った状況を理解しながらも、もう一度「きまり」の意味を考えさせる。
終末	○今日の学習から、責任や思いやりについて考えたことをまとめる。	・きまりは自分だけのことでなく、周りの人にとっても大切であることがわかった。 ・きまりは必要なら変えることも大事だけど、みんなに影響することを忘れてはいけない。	・板書を振り返りながら、「きまり」を人との関わりから考える大切さに気付かせたい。

6 評価

・法やきまりの意味について考え、その価値について自身の考えを深めることができたか。

2年 道徳授業 学習指導案

令和4年1月29日(土) 第2校時
 実施学級 2年 1組 34名
 授業者 ○○ ○○

1 主題名 規則の役割

2 主題設定の理由

中学校の段階では、調和した社会生活には、法やきまりが大切であることを理解するものの、法やきまりを他律的に捉え、自己の自由や権利を束縛するものとの意識も見られる。法やきまりが互いの自由や権利を保障するものであるとの認識をもち、それらへの反発の中に、自己への甘えや他者への無配慮が潜んではいけないか、今一度、自分自身の行動を振り返らせたい。

3 ねらい

互いに住みよい社会をめざす精神の大切さを理解し、調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育む。

4 資料 「美しい鳥取砂丘」(中学道徳 あすを生きる2)

5 展開の概要

過程	○学習活動と■主な発問	☆予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	○教材に対して関心を持つ ■私たちはなぜ、何を求めて観光をするのだろう。		数枚の写真を提示する。観光の目的は様々だが、「よい出会いを期待していく」ことを確認する。
展開	○「美しい鳥取砂丘」を読み、考える。 ■「私」は、鳥取砂丘へ行くことをどのように思っていたのだろう。 ■「私」は、「馬の背」に落書きが書かれているのを見て、どう思ったのだろう。 ■罰則のある条例ができて、落書きが続いたのはなぜだろう。また、あなたはこの現状をどう考えるだろう。	☆とても楽しみ。 ☆早く見たくてしかたなかった。 ☆なぜ落書きするのかと憤慨した。 ☆せっかく来たのに落書きがあったので虚しくなった。 ☆条例を知らない人がいるから。 ☆捕まらなければ落書きをしてもいいと思う人がいるから ☆大勢だと好き勝手なことをしがちだから ☆他人への迷惑に気づかないから ☆文化や自然の景観を壊すことに無関心だから	「私」の期待は、生徒たちが行きたいところへ行く前に抱くものと同じものであることを捉えさせる。 美しい砂丘が見たかったが落書きがあることでの失望感と憤りを感じ取らせる。 落書きがなくなならない原因を、多様な視点から出させる。自然や公共に対する責任感のなさに気付かせる。

	<p>■鳥取砂丘の事例を踏まえて、なんのために規則はあるのか考えてみよう。</p>	<p>☆みんながお互いに気持ちよく過ごすため ☆迷惑行為が0にならないとしても、何が望ましいことなのか私たちが忘れず確認するため ☆最終的には規則がなくても自然を守れるように、みんなの意識を高めるため</p>	<p>罰則のある条例が作られても迷惑行為がなくなるという現実を踏まえて、それでもなぜ私たちは規則を作るのか、規則の意義や役割について考えさせる。 ホワイトボードなどを使ってグループの意見を掲示し、全体ですらに考えを深められるようにする。</p>
<p>終末</p>	<p>○今日の学習を振り返る ■よりよい規則とはどんなものだと思うか、まとめてみよう。</p>		<p>多くの人に納得されて、少し厳しくてもみんなが守ろうという意識が高まる規則とは何か考えさせる。</p>

6 評価

社会には法やきまりが守られない状況があるが、知恵を出し合って粘り強くよい方向に改善していかうとする視点での発言や記述が見られたか。

2年 道徳授業 学習指導案

令和4年1月29日(土) 第2校時
 実施学級 2年 2組 35名
 授業者 ○○ ○○

1 主題名 規則の役割

2 主題設定の理由

中学校の段階では、調和した社会生活には、法やきまりが大切であることを理解するものの、法やきまりを他律的に捉え、自己の自由や権利を束縛するものとの意識も見られる。法やきまりが互いの自由や権利を保障するものであるとの認識をもち、それらへの反発の中に、自己への甘えや他者への無配慮が潜んではいけないか、今一度、自分自身の行動を振り返らせたい。

3 ねらい

互いに住みよい社会をめざす精神の大切さを理解し、調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育む。

4 資料 「美しい鳥取砂丘」(中学道徳 あすを生きる2)

5 展開の概要

過程	○学習活動と■主な発問	☆予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	○教材に対して関心を持つ ■私たちはなぜ、何を求めて観光をするのだろう。		数枚の写真を提示する。観光の目的は様々だが、「よい出会いを期待していく」ことを確認する。
展開	○「美しい鳥取砂丘」を読み、考える。 ■「私」は、鳥取砂丘へ行くことをどのように思っていたのだろう。 ■「私」は、「馬の背」に落書きが書かれているのを見て、どう思ったのだろう。 ■罰則のある条例ができて、落書きが続いたのはなぜだろう。また、あなたはこの現状をどう考えるだろう。	☆とても楽しみ。 ☆早く見たくてしかたなかった。 ☆なぜ落書きするのかと憤慨した。 ☆せっかく来たのに落書きがあったので虚しくなった。 ☆条例を知らない人がいるから。 ☆捕まらなければ落書きをしてもいいと思う人がいるから ☆大勢だと好き勝手なことをしがちだから ☆他人への迷惑に気づかないから ☆文化や自然の景観を壊すことに無関心だから	「私」の期待は、生徒たちが行きたいところへ行く前に抱くものと同じものであることを捉えさせる。 美しい砂丘が見たかったが落書きがあることでの失望感と憤りを感じ取らせる。 落書きがなくなならない原因を、多様な視点から出させる。自然や公共に対する責任感のなさに気付かせる。

	<p>■鳥取砂丘の事例を踏まえて、なんのために規則はあるのか考えてみよう。</p>	<p>☆みんながお互いに気持ちよく過ごすため ☆迷惑行為が0にならないとしても、何が望ましいことなのか私たちが忘れず確認するため ☆最終的には規則がなくても自然を守れるように、みんなの意識を高めるため</p>	<p>罰則のある条例が作られても迷惑行為がなくなるという現実を踏まえて、それでもなぜ私たちは規則を作るのか、規則の意義や役割について考えさせる。 ホワイトボードなどを使ってグループの意見を掲示し、全体ですらに考えを深められるようにする。</p>
<p>終末</p>	<p>○今日の学習を振り返る ■よりよい規則とはどんなものだと思うか、まとめてみよう。</p>		<p>多くの人に納得されて、少し厳しくてもみんなが守ろうという意識が高まる規則とは何か考えさせる。</p>

6 評価

社会には法やきまりが守られない状況があるが、知恵を出し合って粘り強くよい方向に改善していかうとする視点での発言や記述が見られたか。

2年 道徳授業 学習指導案

令和4年1月29日(土) 第2校時
 実施学級 2年 3組 34名
 授業者 ○○ ○○

1 主題名 規則の役割

2 主題設定の理由

中学校の段階では、調和した社会生活には、法やきまりが大切であることを理解するものの、法やきまりを他律的に捉え、自己の自由や権利を束縛するものとの意識も見られる。法やきまりが互いの自由や権利を保障するものであるとの認識をもち、それらへの反発の中に、自己への甘えや他者への無配慮が潜んではいけないか、今一度、自分自身の行動を振り返らせたい。

3 ねらい

互いに住みよい社会をめざす精神の大切さを理解し、調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育む。

4 資料 「美しい鳥取砂丘」(中学道徳 あすを生きる2)

5 展開の概要

過程	○学習活動と■主な発問	☆予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	○教材に対して関心を持つ ■私たちはなぜ、何を求めて観光をするのだろう。		数枚の写真を提示する。観光の目的は様々だが、「よい出会いを期待していく」ことを確認する。
展開	○「美しい鳥取砂丘」を読み、考える。 ■「私」は、鳥取砂丘へ行くことをどのように思っていたのだろう。 ■「私」は、「馬の背」に落書きが書かれているのを見て、どう思ったのだろう。 ■罰則のある条例ができて、落書きが続いたのはなぜだろう。また、あなたはこの現状をどう考えるだろう。	☆とても楽しみ。 ☆早く見たくてしかたなかった。 ☆なぜ落書きするのかと憤慨した。 ☆せっかく来たのに落書きがあったので虚しくなった。 ☆条例を知らない人がいるから。 ☆捕まらなければ落書きをしてもいいと思う人がいるから ☆大勢だと好き勝手なことをしがちだから ☆他人への迷惑に気づかないから ☆文化や自然の景観を壊すことに無関心だから	「私」の期待は、生徒たちが行きたいところへ行く前に抱くものと同じものであることを捉えさせる。 美しい砂丘が見たかったが落書きがあることでの失望感と憤りを感じ取らせる。 落書きがなくなならない原因を、多様な視点から出させる。自然や公共に対する責任感のなさに気付かせる。

	<p>■鳥取砂丘の事例を踏まえて、なんのために規則はあるのか考えてみよう。</p>	<p>☆みんながお互いに気持ちよく過ごすため ☆迷惑行為が0にならないとしても、何が望ましいことなのか私たちが忘れず確認するため ☆最終的には規則がなくても自然を守れるように、みんなの意識を高めるため</p>	<p>罰則のある条例が作られても迷惑行為がなくなるという現実を踏まえて、それでもなぜ私たちは規則を作るのか、規則の意義や役割について考えさせる。 ホワイトボードなどを使ってグループの意見を掲示し、全体ですらに考えを深められるようにする。</p>
<p>終末</p>	<p>○今日の学習を振り返る ■よりよい規則とはどんなものだと思うか、まとめてみよう。</p>		<p>多くの人に納得されて、少し厳しくてもみんなで作ろうという意識が高まる規則とは何か考えさせる。</p>

6 評価

社会には法やきまりが守られない状況があるが、知恵を出し合って粘り強くよい方向に改善していかうとする視点での発言や記述が見られたか。

3年 道徳授業 学習指導案

令和4年1月29日(土) 第2校時
実施学級 3年 1組 32名
授業者 ○○ ○○

1 主題名 仕事の意義

2 主題設定の理由

生徒は、学校の様々な生活の中で、責任や協働の大切さを感じ、最後までやり通す達成感などを経験している。中学3年生は、自己の将来に目を向け、進路選択について考える時期であるが、具体的に考えられていない生徒も少なくない。仕事による社会貢献と、その中で得られる成就感や充実感を自覚させることを通して、仕事の意義について見直し、自らの進路選択と関連させながら考えさせたい。

3 ねらい

働くことによって社会や他者の生き方を支えるという仕事の意義を理解し、社会に貢献する生き方をしようとする実践意欲を高める。

4 資料 「失った笑顔を取り戻す」

5 展開の概要

過程	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。 発問 「人は(私は)○○のために働く」の○○に入る言葉は何ですか。	・お金、家庭、楽しさなど	・本時のねらいについて問題意識を持たせるために、導入で働く目的についての生徒の考えを取り上げる。 ・働く目的を自分との関わりで考えさせるために、発問の主語を「人」から「私」に変えて、問い返す。
展開	教材「失った笑顔を取り戻す」を読み、考える。 ①臼井さんが義肢装具士の仕事に就いたのはなぜだろう。また、臼井さんが、新たにスポーツ用の義足を作り始めたのはどうしてだろう。 ②臼井さんが現在も様々な義足を作り続ける理由とは？ ③あなたにとって、仕事とはどのようなものだろう。	・誰かの役に立ちたい ・生き生きと生活してほしい。 ・患者さんのためにもっとよい義足を作りたい ・社会貢献したいなど	・臼井さんが義肢装具士の仕事に「誰かの役に立つ」という意義を見出したことに着目させる。 ・新しい挑戦にも「誰かの役に立ちたい」という思いに裏づけられていることを押さえる。 ・臼井さんの生き方をもとに、自己の将来や進路選択に目を向けさせる。
終末	今日の学習を振り返る。		感じたことを記述させる。

6 評価

臼井さんの心情と自己の様々な体験を対比させ、社会貢献の視点で仕事の意義について考えているような発言や記述がみられたか。

3年 道徳授業 学習指導案

令和4年1月29日(土) 第2校時
実施学級 3年 2組 32名
授業者 ○○ ○○

1 主題名 よりよい社会の実現

2 主題設定の理由

選挙権が18歳に引き下げられ、今年4月からは成人年齢も引き下げられる。生徒が将来、選挙権を付与される年齢に達した際、自分が社会の一員であるという認識のもと、社会を構成するさまざまな人々の立場を考えたうえで、主体的に参画し、役割と責任を果たすことが重要になる。そのために政治的な課題にも関心を持ち、社会の形成を人任せにすることなく、自ら考え判断する態度を養うため、この主題を設定した。

3 ねらい

社会に主体的に参画し、役割と責任を果たすために政治的な課題にも関心を持ち、社会の形成を人任せにすることなく、自ら考え判断する態度を養う

4 資料 「サトシの一票」 (中学道徳 あすを生きる 日本文教出版)

5 展開の概要

過程	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none">・ 前回の授業について振り返る。・ 前時のグループワークの内容を確認する。		前回の授業で、考えを深めた方法を確認する。
展開	<ul style="list-style-type: none">・ 条件を確認し、「首都移転」について適した材料をあげる。・ 首都移転先について自分の意見をまとめる・ グループで話し合い首都移転先について意見をまとめ、代表者が発表する。	<ul style="list-style-type: none">・ 交通、災害、地形などに意見がかたよる。・ 条件を満たすことで地域が限られる。	<ul style="list-style-type: none">・ さまざまな観点から考えるよう促す。・ 他者の意見も参考に考えるよう促す。
終末	<ul style="list-style-type: none">・ 本時の学習を振り返り、首都移転が再び議論されるようになった背景について考える。		

6 評価

さまざまな条件を考慮したうえで自分の意見をまとめ、話し合い活動を通して、考えを深めることができたか。

3年 道徳授業 学習指導案

令和4年1月29日(土) 第2校時
実施学級 3年 3組 33名
授業者 ○○ ○○

1 主題名
周りへの感謝

2 主題設定の理由

感謝の心は、他者から受けた思いやりに対する人間としての心の在り方であり、人間は、お互いに助け合い、協力し合って生きている。その関係を根底で支えているのはお互いの感謝の気持ちである。東日本大震災の経験を通して、子どもたちは生命の尊厳、人々の助け合いなど、さまざまなことを感じ学んできた。震災からの復興は長い年月を要するものであり、現在も進行中である。避難所の生活で支援される側から支援する側になり、初めて周囲の人々の努力や気遣いに気づいていく「私」の心の成長から、集団の中での感謝の心、食事をいただくという自然の恵みへの感謝、人の価値観の違い、人のために尽くす心の充実感について考えさせる。

3 ねらい

家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や自分があることに感謝し、周囲の思いに応えようとする態度を育てる。

4 資料

「塩むすび」（中学道徳 あすを生きる 日本文教出版）

5 展開の概要

過程	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	○東日本大震災に関する写真を確認し合う。 ・震災当時の環境を見てみよう。 ・写真を見て、どう思ったか発言してみよう。	・生活できないくらい、家屋が倒壊している。 ・ここでは生活できない。	・当時のことを知らない生徒がいるため概要を説明する。
展開	○震災時、人々はどんな「言葉」を大切にしていたらう。7つの言葉から選ぶ。 ○普段の日常生活で、みなさんが大切にしている「言葉」とは。 ○多様な価値観がいる人々の中で、塩むすびが果たしていた「役割」とは	7つの言葉 「愛」「健康・安全」「礼儀」「富」「楽しみ」「奉仕」「自己実現」 ・震災時は、健康・安全を大切にす。 ・普段の日常ならば、楽しむを1番に考える。	避難所生活の中での支援する側、される側の気持ちを考えて、7つの言葉を選ばせる。
終末	○今日の学習から、感謝の気持ちや思いやりについて考えたことをまとめる。	・食事係にとって、お礼の言葉が嬉しい。 ・避難者の方は、温かいおにぎりおいしい、食事係に感謝。お互いが嬉しい気持ちになれる。	板書を振り返りながら、「きまり」を人との関わりから考える大切さに気付かせたい。

6 評価

支援する側、される側それぞれの立場について考え、感謝や思いやりの気持ちについて深く考えることができたか。